

2020年度 町田市スポーツ推進計画19-28アクションプラン進捗状況(主な実施事業)

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(1) 子どものスポーツ推進

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
1-1-1	「まちとも」と連携した放課後のスポーツ推進			<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、各学校において休校措置や「まちとも」を中止する期間があり、各学校の判断で「まちとも」を再開し始めているが、連携している1校(小山ヶ丘小学校)については、2020年度中の外部指導員との連携の中止を決定するなど、事業を実施することが困難な状況であった。新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、2021年度以降、事業の実施、再開が出来るよう調整を行う。 2019年10月に地域スポーツクラブ準備団体として設立した「なんまち絆クラブ」が、新たに南地区で「まちとも」との連携を検討しており、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、実施できるよう調整を進めている。
【再掲】 3-1-1	スポーツ推進委員・地域スポーツクラブと連携した地区数	4地区	2地区	
1-1-2	市内10地区のスポーツマップの作成・活用			南地区、高ヶ坂・成瀬地区のスポーツマップを作成し、ホームタウンチーム(FC町田ゼルビア)と連携を図り、区域内の小学校12校に配布した。引き続き、関係各課や関係団体と連携し、2021年度は、新たに2地区(小山・小山ヶ丘地区、相原地区)のスポーツマップを作成する。
【再掲】 4-1-1	スポーツマップを作成した地区数	2地区	2地区	

(2) 働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
1-2-2	子どもの健診時のスポーツ啓発			<ul style="list-style-type: none"> 1歳6か月児健康診査の際に配布するため、スポーツ啓発を目的とした「日常の中でもできるスポーツのススメ」のチラシを作成した。 新型コロナウイルスの影響により、健康診査に訪れる方へ配布が困難な状況となったため、健康福祉会館にチラシを設置した。
	啓発物の作成・配布	実施	実施	

(3) 高齢者のスポーツ推進

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
1-3-2	温浴施設を活用したスポーツ環境の充実			<ul style="list-style-type: none"> 温浴施設整備のための工事を開始した。(2020年10月末～2021年11月まで) 2022年度に施設オープンを予定しており、2021年度にスポーツ教室等事業の内容について検討を開始する。
	温浴施設を活用した事業の実施	-	工事	

(4) 障がい者のスポーツ推進

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
1-4-1	スポーツ・レクリエーション教室等の開催			<ul style="list-style-type: none"> ①新型コロナウイルス感染症の感染拡大により施設の貸出が中止され、開催できない期間があった。施設の貸出が再開された後も、三密状態が発生しやすい活動であること、障がいのある方を対象とした教室のため感染者が発生した場合のリスクが大きいことから、再開までに時間を要した。 ポッチャが市内に広まってきたため、イベントでもポッチャを行うことが多かった。 ②新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、休館や一部教室・イベントの中止をしたため、実施回数としては減少した。 2021年度は、引き続き教室やイベントを開催していくとともに、未実施となった指定管理者の自主事業について調整を行う。
	開催回数	①体育館 年36回 プール 年36回 ②年 55回	①体:年5回 プ:年2回 ②28回	
1-4-2	小学生を対象とした障がい者スポーツ体験教室開催			<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、1学期の実施はできなかったが、感染症対策を講じた上、2学期以降に可能な限り実施した。市内の小学校9校で、障がい者バドミントン連盟の協力のもと、パラアスリートを派遣していただき、障がい者スポーツの体験教室キャラバンを実施し、760人が参加した。 2021年度も事業を継続して実施する。
	年間参加者数	年1,000人	年 760人	

基本目標2 スポーツに関わる 人材と組織の充実

(1) スポーツを支える人材の育成

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
2-1-1	大学・企業連携によるスポーツを支える人材の派遣			新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体において講師派遣、スポーツ教室の中止等、事業を実施することが困難な状況であった。 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、2021年度以降、事業再開に向け、各団体と調整を行う。
	連携団体数	5団体 検討 調整	1団体 検討 調整	
2-1-2	まちなだサポーターズの活動機会の充実			新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、第1四半期の全活動が中止となり、第2四半期以降も活動の中止や参加者数を絞っての実施が相次いだため、例年に比べて延べ活動参加者数が減少した。 2021年度以降は、オリンピック・パラリンピック終了後のボランティア数の維持が課題となっているため、オリンピックパラリンピックを目的に新たにサポーターになった方に対し、その他のスポーツボランティアへの積極的な参加を促す等働きかけを行う。
	年間延べ活動参加者数	年3,300人	年 974人	

(2) スポーツを支える団体の支援・育成

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
2-2-3	まちなだサポーターズの組織化			新型コロナウイルス感染症の影響があるなかでもオンラインを活用し、今後の体制づくりのための検討を継続することができた。 とりわけ「まちなだサポPRプロジェクト」では、質の高いPR動画を完成させることができ、プロジェクトメンバーのなかに自らの力で企画を遂行できたという自信が生まれ、今後の自立化への足掛かりとすることができた。
	まちなだサポーターズの育成	オリンピック・パラリンピック後の体制づくり	オリンピック・パラリンピック後の体制づくり	

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1) 「する」スポーツ環境の充実

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
3-1-4	公園のスポーツ利用の促進			・全地区における掲載対象公園の選定を行った。 ・2地区(南地区、高ヶ坂・成瀬地区)におけるスポーツマップの作成し配布した。 ・2021年度は、新たに2地区(小山・小山ヶ丘地区、相原地区)のスポーツマップを作成するため、対象地域の公園の制札板の更新等を実施する。
	利用方法の見直し	2地区	2地区	
3-1-6	大学・企業連携によるスポーツ施設の市民利用拡大			新たに1団体と協定を締結し、協定締結団体数は5団体となったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体において敷地内への立ち入り制限があり、利用に向けた調整や事業を実施することが困難な状況であった。2021年度以降は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、事業実施に向け、各団体と調整を行う。
	連携団体数	5団体 検討 調整	1団体 検討 調整	

(2) 「みる」スポーツ環境の充実

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
3-2-1	総合体育館、陸上競技場におけるスポーツ観戦環境整備			・町田GIONスタジアムの観客席増設については、2021年春の工事完了を目指し、適切な工事監理を行った。新型コロナウイルス感染症が収束したあとに新たな賑わいを創出できる大規模イベントの開催を検討する必要がある。イベントを検討するにあたり、スポーツ以外のイベントも視野に入れて施設管理者等と一緒に検討して行く。 ・総合体育館大型映像装置については、バスカドラーのホームゲームや大規模大会以外に、市民大会や市内イベント等での活用をPRし、今後も様々な形で活用されるように周知を行っていく。
	-	整備	整備	

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり

(1) スポーツ情報の発信

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
4-1-2	スポーツ以外の既存情報発信ツールとの連携			新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツイベントが軒並み中止となっていることもあり、掲載するスポーツ情報が少なかった。自宅でできるスポーツ情報等チラシを設置した。スポーツ教室実施時のアンケート等により、スポーツ以外の既存情報発信ツールによる情報発信の効果を測定する方法を検討していく必要がある。 2021年度は、他の団体等とのさらなる連携を図り、新たな生活様式にも対応したスポーツに関する情報を様々な媒体で発信していく。
	-	実施	実施	

(2) スポーツを通じたシティプロモーション

番号	取組項目			主な取組
	指標	目標値	実績値	
4-2-1	ホームタウンチームと連携したPR活動			・2020年2月からペDESTリアンデッキにFC町田ゼルビア横断幕、タペストリーを設置し、チームカラーで一体感のある装飾にすることでPRを行った。 ・ホームタウンチームを周知・PRできる場所が限られている。2021年度以降は、より広く市民へ周知できるように、新たな広報の場の獲得等検討していく。
	-	実施	実施	